



まとい
No.380
富良野広域連合富良野消防署占冠支署
56-2119

消防瓦版纏

消毒用アルコールは火気の近くで使用厳禁です

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、消毒用アルコールを使用する機会が増えています。消毒用アルコールから発生する可燃性蒸気は引火しやすく、空気より重く低所に滞留しやすいため、貯蔵・取扱いの際は次の事項に注意してください。

- ・消毒用アルコールを使用する際は、火気の近くで使用しないこと。
- ・消毒用アルコールの容器を落下させたり、衝撃を与える等の行為をしないこと。
- ・消毒用アルコールの容器を設置・保管する場所は、直射日光が当たる場所や高温となる場所を避けること。
- ・消毒用アルコールを容器に詰め替える場合は、通気性の良い場所や換気が行われている場所等で行い、漏れ、あふれ又は飛散しないよう注意すること。
- ・詰め替えた容器に消毒用アルコールである旨や「火気厳禁」等の注意事項を記載すること。

救急出場状況(4月分)

火災	1件(0人)
交通事故	1件(0人)
急病	3件(3人)

4月計	5件(3人)
累計	61件(53人)
※()内は搬送人員	

地域とともに コミュニティ・スクール情報 ～占冠中学校～



占冠中学校と中央小学校が、施設分離型小中一貫校となり、3年目に入りました。一部の教職員の兼務発令による指導体制充実や授業協力、合同学習の実施、合同行事の開催など、地域全体で子どもたちを育てる取組を進めています。

各教科・各学年の授業においては、小中の教諭で互いに保有する教員免許の専門性を生かし、9年間の学びの連続性を踏まえた授業の展開を行っています。

今年度は、本校からは、数学担当の松尾教諭、国語担当の戸田教諭、社会担当の田中教諭、英語担当の寺岡教諭、保健担当の齋藤養護教諭が小学校へ出向き、主に中・高学年の授業を行います。

また、小学校からは、高橋教諭が3学年英語、皆川教諭が全学年音楽と技術、奥野教諭が2学年理科を担当し、各教科の授業を行います。さらに、小中の特別支援学級との連携を深め、合同学習等も積極的に進めていきます。

小中の枠組みを越えて、各学校の教職員の共通理解と、保護者や地域の方々の支援を受けながら、義務教育9年間で子どもたちの「生きる力」を村一体となって育てていきたいと思えます。



こんにちは 保健師です

このコーナーでは、住民の皆様が健康で元気でいられるための情報をお届けします。

困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

住民課保健予防担当 ☎ 56-2122

感染しないために 手洗い・うがい

重症化のリスクを 減らすために 疾病の管理 が大切



新型コロナウイルス感染症が国内で発生してから5か月が過ぎますが、依然として収束する兆しが見えません。

動脈硬化や糖尿病、ぜんそく等といった基礎疾患がある方は、臓器の機能や抵抗力の低下から、新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化しやすいと言われています。日頃から、手洗い・うがい等の感染対策に加え、『疾病の管理』を行うことで重症化のリスクを減らしましょう。

動脈硬化等が原因で十分な酸素等が行き渡らない

高血圧や脂質等の異常が続くと血管の弾力が失われ、動脈硬化がおこります。動脈硬化が進むと血流が悪くなり、心臓や脳、腎臓など体にとって大切な臓器に酸素や栄養を十分に送ることができず、働きが低下します。臓器の働きが低下している状態で、新型コロナウイルスに感染すると、肺がダメージを受け、全身に十分な酸素がいきわたらず、すでに弱っている臓器にさらに負担をかけることとなります。動脈硬化の方全てが重症化するわけではありませんが、リスクが高くなる可能性があります。

COPD (慢性閉塞性肺疾患)・ぜんそく

新型コロナウイルスは、気管や気管支を通り越して、気管支の先についている肺胞という組織に直接とりつき、肺炎を起こす場合があると考えられています。

COPD (慢性閉塞性肺疾患)は、主に喫煙が原因です。COPDの方の場合、すでに肺胞の破壊が進んでいるため、感染すると酸素不足になりやすく重症化のおそれがあります。

ぜんそくは、COPDと同じく気管や気管支に炎症が起こる病気です。気管や気管支の表面には、外からのウイルスが侵入してきたときに体外に排出する働きをする線毛やウイルスを攻撃する物質など、ウイルスから身を守る免疫システムが備わっていますが、ぜんそく等で炎症を起こしているとこれらの免疫システムが正常に働かず、ウイルスが体内に侵入しやすくなります。

十分な睡眠と栄養、禁煙をしよう

新型コロナウイルス感染症に感染した場合、前述した病気以外の病気を患っていても、重症化するリスクがあります。

少しでもリスクを減らすためには、疾病の管理が大切です。自宅にいたことが多くですが、『室内での運動』や『バランスのとれた食事』、『十分な睡眠』などで生活習慣が崩れないように心がけることが大切です。また、喫煙習慣のある方は、直ちに禁煙に取り組んでください。

帰国者・接触者相談センターの窓口

感染症に対する相談は次の窓口へご連絡ください。

富良野保健所 ☎ 23-3161 (平日) 8:45~17:30

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課 ☎ 011-204-5020 (24時間対応)